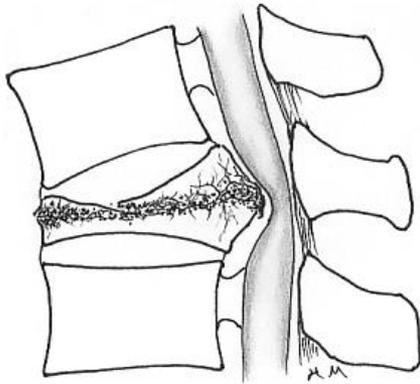
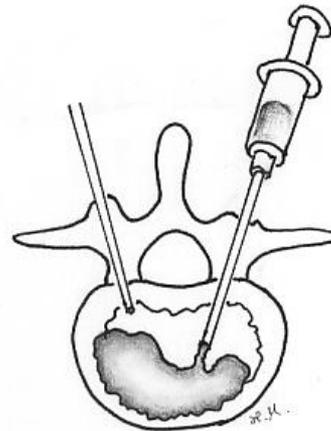


* 骨粗鬆症性椎体骨折に対する椎体形成術

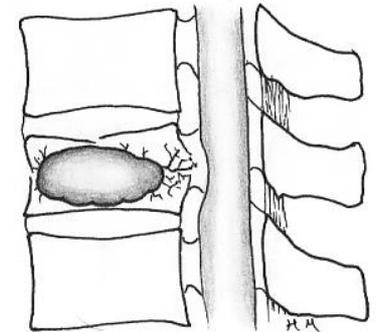
骨粗鬆症のある方が転倒されたり重いものを持ったりしたときに胸椎や腰椎の椎体が骨折することがあります。骨がもろくなっている方では明らかな外傷のない場合でも起こりえます。通常はコルセットをつけて安静にしていると徐々に痛みが軽減することが多いです。安静にせずに動いていると折れた骨が癒合せず、椎体の圧潰が進んで脊髄を圧迫する場合がありますので注意が必要です。強い痛みが続いたり、下肢のしびれや脱力が生じた場合には手術が必要になることもあります。手術については病状によって様々な方法を選択する必要があります。下図は小侵襲の椎体形成術ですが脊髄の圧迫が強い場合などは適応がなく、すべての方に行える訳ではありません。



椎体圧潰による脊髄圧迫



充填剤の注入
椎体形成術



椎体形成術後